

# 2020年3月7日（土） 都市センターホテル

## 第1会場（3F コスモスホール）

9:00	<b>開 会 式</b> 会長 天野 泉（名古屋バスキュラーアクセス天野記念診療所）
9:05~10:00 (55分)	<b>ワークショップA 中心静脈拡張のステント治療の適応を考える</b> 座長 土井 盛博(広島大学病院) 土田 健司(土田透析アクセスクリニック) Opening Remarks 土井 盛博(広島大学病院) 1. 流出路不全に対して末梢血管用ステントグラフトを使用した一例 宮坂 康宣 (JCHO仙台病院) 2. シャント側鎖骨下静脈閉塞に対する、血栓除去術、ステント留置により軽快した一症例 三井 秀也(三栄会ツカザキ病院) 3. 中心静脈治療の失敗症例から学んだ自己拡張型ステントの特性と治療戦略 櫻間 教文 (重井医学研究所附属病院) 4. 我々の中心静脈病変に対する治療方針—ステント留置術の適応— 江口 大彦 (福岡市民病院) 5. ペースメーカーリード部位での中心静脈慢性完全閉塞(CTO)に対するVAIVTの成績 堀田 祐紀 (心臓血管センター金沢循環器病院)
10:00-11:00 (60分)	<b>スポンサードセミナーA: エコー下VAIVTで何が変わったか</b> 司会 後藤 靖雄 (シャントクリニック仙台東)、坪井 正人 (安城共立クリニック) 1. 当院におけるエコーガイド下PTA 佐藤 和宏 (善仁会横浜第一病院) 2. バスキュラーアクセス不全に対する超音波ガイド下PTA ~当院におけるエコー下VAIVT~ 若林 正則 (望星第一クリニック) 3. エコー下VAIVTで何が変わったか~エコー下の利点を活かす手技を目指して~ 甲斐 耕太郎 (バスキュラーアクセスクリニック目白) 4. エコー下VAIVTで何が変わったか 佐藤 純彦 (医療法人社団クレド さとうクリニック) 5. 当院でのエコー下VAIVTの成績-透視下VAIVTとの比較- 下池 英明 ( (医) 高橋内科クリニック) 共催 ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
11:00~12:00 (60分)	<b>スポンサードセミナーB: 動静脈吻合部近傍の拡張方法のポイント (動脈側はどうするか)</b> 司会 野口 智永 (吉祥寺あさひ病院) 中山 祐治 (土田透析アクセスクリニック) 1. 動静脈吻合部などの屈曲部での各種バルーン作用の違い 本宮 康樹 (医療法人翠悠会 翠悠会診療所) 2. 動脈側へのVAIVT効果を分析する~安全性に配慮した透析VAIVTとしての新しいアプローチ~ 井上 浩伸 (医療法人 永生会 まつした腎クリニック) 3. 動静脈吻合部近傍の拡張方法のポイント 宗本 将嗣 (特定医療法人仁真会 白鷺病院) 4. 動静脈吻合部近傍の拡張方法のポイント 久留 秀樹 (医療法人嬉泉会 嬉泉病院) 共催 ニプロ株式会社
12:15~13:00 (45分)	<b>ランチョンセミナーA: バスキュラーアクセスインターベンション治療の現状と今後の展望</b> 司会 池田 潔 (池田バスキュラーアクセス・透析・内科) 1. VAIVT治療の現状と課題 村上 雅章 (静岡県立総合病院) 2. ゴアバイアバーンの適応と製品概要 深澤 瑞也 (山梨大学医学部附属病院) 共催 日本ゴア合同会社
13:05~13:20 (15分)	<b>総 会</b> 司会 神應 裕 (神應透析クリニック)、池田 潔 (事務局) 『透析VAIVT2019』 Best Paper Award

13:20~14:00 (40分)	<b>特別講演Ⅰ 『動静脈吻合の病理』</b> 司会 宮田 昭 (熊本赤十字病院) 演者 高橋 正人 (秋田厚生医療センター 病理診断科)
14:00~14:20 (20分)	<b>特別講演Ⅱ 『中心静脈狭窄・閉塞の治療：中心静脈ステント留置の注意点と管理』</b> 司会 天野 泉 (名古屋バスキュラーアクセス天野記念診療所) 演者 堀田 祐紀 (心臓血管センター金沢循環器病院 循環器内科)
14:20~15:20 (60分)	<b>スポンサードセミナーC：3カ月ルールを目指したアクセス管理をバルーン選択から考える</b> <b>司会 小口 健一 (医療法人社団望星会 望星病院) 川合 徹 (医療法人中央内科クリニック)</b> 1. 3か月ルールを目指したアクセス管理をバルーン選択から考える 甲斐 耕太郎 (バスキュラーアクセスクリニック目白) 2. VAIVTにより多くの症例で同一VAの継続使用が可能である-3か月ルール導入後の成績を含めて- 下池 英明 (医療法人 高橋内科クリニック) 3. 3ヶ月未満PTA症例のプロファイルと治療戦略 櫻間 教文 (医療法人創和会重井医学研究所附属病院外科、ダイアライシスアクセスセンター) 4. Drug-coated balloon(DCB: Paclitaxel coated balloon)治療後の再狭窄病変に対する再度のDCB治療は効果がない? 堀田 祐紀 (心臓血管センター金沢循環器病院) <b>共催 株式会社カネカメディックス</b>
15:20~16:10 (50分)	<b>一般演題A：トラブル・合併症</b> <b>座長 櫻間 教文 (重井医学研究所附属病院外科、ダイアライシスアクセスセンター) 久木田 和丘 (札幌北楡病院)</b> 1. VAIVT治療中に心停止したエチレンオキサイドアレルギーの症例 黒澤 洋 (水戸済生会総合病院) 2. 繰り返す鎖骨下静脈閉塞のためシャント閉鎖に至った1例 戴 佳恵 (福岡市民病院) 3. バスキュラーアクセスと同側にある胸部大動脈内ステントにより静脈高血圧症を発症した一例 大森 聡 (JCHO千葉病院) 4. 治療困難な静脈高血圧症に対し、バルーンによるシャント閉鎖が有効であった症例 谷山 宣之 (札幌北楡病院外科) 5. 穿刺によると思われる閉塞に対するウロキナーゼ投与時に仮性瘤を形成し、VAIVTにて加療した人工血管の1例 平山 遼一 (医) 高橋内科クリニック)
16:10~17:20 (70分)	<b>一般演題B：症 例・ステント</b> <b>座長 甲斐 耕太郎 (バスキュラーアクセスクリニック目白) 椛島 成利 (ひびきクリニック)</b> 1. 血栓閉塞に対してPTAのみで開存した一例 山本 都夢 (大垣徳洲会病院 臨床工学科) 2. VAIVTにおけるPTAはアクセス血管に何をすべきなのだろうか?-PTA後の残存した狭窄病変が自然寛解した症例から- 田代 秀夫 (ユウカリ血管クリニック) 3. 鎖骨下静脈の閉塞に対するハイブリッド治療の経験 二瓶 大 (いわき市医療センター 透析センター外科、福島県立医科大学災害医療支援講座、済生会神奈川病院 腎臓外科) 4. 石灰化吻合部瘤をガイドワイヤーが通過せず、解離腔をバルーン拡張した1例 大澤 暁(恵仁会三愛病院) 5. 表在静脈流出路が閉塞した自己血管内シャントに対する経皮的血管形成術におけるステントグラフト留置症例の検討 吉田 祐子 (福岡市民病院) 6. Viabahn®全長に形成されたフィブリン膜除去後1カ月で再生した1例 上野 雄貴 (福岡市民病院) 7. VIABAHN®ステントグラフトの使用経験とその再狭窄パターン 江口 大彦 (福岡市民病院)
17:20~	<b>閉 会 式</b> 司会 室谷 典義 (JCHO千葉病院)、池田 潔 (事務局)